



道東 26 こ う ほ う 光 報

道東地区教会連合会機関誌



'DÔTÔUKÔHÔ', Journal of KONKOUKYOU East Hokkaido reg., No.26 Apr.,2011

巻 頭 言

道東地区教会連合会会長 菊川松次郎

天地一切の運行が我が親神様のお働き、風が吹き、雨が降り、雪が降る、時には吹雪、時には台風もやってくる。

そうした天地一切の運行の中に我々人間をはじめ諸動物は生かされて生きています。そしてこの度の巨大な地震もまた天地の親神様のお働きであると言わねばなりません。どうしてもやむを得ない、この地球がこの天地がバランスを保つ、あるいは生きて活動するための、神様としてもどうしようもないことであつたろうと思います。その神様ご自身としても、どうしようもない動きの中に多くの命が失われ、多くの街が津波にのみ込まれたことを、神様はどれ程悲痛な思いで御覧になったこ

とでしょう。どれ程御心を痛められたことでしょう。

○

連日放送されるあまりの惨状に、中には天罰などと言つてみたり、あるいは神も仏もないと言う人があるかもしれない。しかしながら我が教祖金光大神様が出逢われ現して下さった神様は決してその様な、罰を与えるような神様ではありません。もし、人類の思い上がりのための罰ならば、どうして日本の限られた地域の人々だけがこの様な悲惨な目に遭わねばならないのでしょうか。天罰などと言つて憚らない人方は我が身をどこに置いてそんなことを仰つているのでしょうか。それこそ神様にでもなつたつもりでおられるのでしょうか。本気で

天罰などと思つていのであれば、まずは人間として自らが神様に謝り、霊神様や被災した人々にも頭を下げるのが本当だと思ふのは私だけでしょうか。

○

一方で人として何かをせすにおれない、少しでもお役に立ちたいとの願いから、今、世界中から励ましや支援の手が差し伸べられ、国内においても救助やボランティア、命がけの原発の作業に当たる人々があり、被災地でも辛く厳しい状況の中に人々が立ち上がり助け合い励まし合つて、この未曾有の困難を乗り越えようと頑張つておられます。そうした助け合いや人々の祈りの中に天地の親神様の、「どうぞ助かってくれよ、

「どうか乗り越えてくれよ」
との切なる願い、痛ましいほ
どの御心を感じます。もつと
言えば、人の難儀を見過ぐす
ことの出来ない、なんとか力
になりたいという、人が生ま
れながらに授かっている「神
心」が、今こそ大いにお働き
下さり、大きな力となってい
るようにも感じます。

○

被災地の復興というよりも
日本の復興と言っても過言で
はないほどのこの度の震災。

多くの命が失われました。お
亡くなりになった霊神様方の
道立を祈ると共に、災難にあ
わずに済んでいる私たちは、
負い持つ勤めをしつかりと果
たすことで国や被災地を支え
復興への一助に繋がることの確
かな見識をもち、被災地の
人々の難儀に思いを致して、
一人一人が今できることに取

り組ませて頂きたいもので
す。

○

そして、日本人として、地
球人として、ひいては天地の
親神様の愛し子として、ここ
からの生き方の上に、人とし
てのあり方の上に、多くのこ
とを学び、現し、活かしてい
くことこそ、私たち今に命を
頂くものの努めと思わせて頂
き、その様な道を共に歩む行
くことを願わせて頂きます。

○

最後になりましたが、昨年
十月二十六日の連合会長選挙
の結果、再任ということにな
り、至らぬ私ですが引き続き
会長のお役を頂くことになり
ました。先の会長である矢代
先生が「道東から全教に新し
い風を」と向かう先をお示し
くださり、「道東光報」の願
いとしている「道東より世に

光を」との願いをも改めて頂
きなoshi、これからの三年間
を非力ながら精一杯務めさせ
て頂きたいと思しますので、
何卒よろしくお願い申し上げます。

道東地区教会連合会 各教会大祭日程

春

釧路 5月29日(日)
北見 5月 3日(祝)
十勝 4月17日(日)
帯広 4月24日(日)
網走 5月22日(日)
滝上 6月 5日(日)

秋

10月23日(日)
11月 3日(祝)
11月20日(日)
11月 6日(日)
10月16日(日)
10月 9日(日)

金光教「あいよかけよの生活運動」全道集会

金光教が平成13年から取り組んできている「あいよかけよの生活運動」が今年で10年目を迎えます。北海道教区では10年の節目として「全道集会」を開催します。

○月日 平成23年7月3日(日) 午後1時～午後4時

○会場 ホテル・ノースシティ(札幌市) ※託児所あり

○内容 講演とQ&A形式の討論会「Q&A先生おしえて！」

○講師 藤原務正先生(東京都・赤羽教会長)

教会掲示板

教会からあれこれ

滝上教会

紋別郡滝上町元町士別通り

滝上教会では、天地金乃神大祭を六月五日にお仕え致します。ちょうど芝桜が満開の季節でもあり、滝上はその地名通り、滝の流れがとてもすばらしい景観を呈しています。

信者さん方も少ない人数の中、力を合わせて教会を守り、信心を絶やさぬように頑張っておられます。

是非一度お参りしてみませんか。信者さん方の励みにもなります。

お参りしてみたいという方がありましたら、五月末までに網走教会、菊川までご連絡下さい。

菊川

北見教会

北見市寿町三丁目五番一号
TEL 〇一五七―二四―七七四
FAX 〇一五七―二四―七七四

三月十一日に起こった津波と大震災の想像を絶する被害の事態に対して、今の私はまだ何も言うべき言葉を持ってません。避難所で暮らす人たちの苦勞について、また、それこそ命がけで復旧に力を尽くしている人たちの努力について、いったいなにを言えるのでしょうか。

先の大きな犠牲を払った戦争を知らない私に、一瞬して平凡な日常を奪われた災害がもたらした破壊と絶望、再生と希望が、これから先も信仰者に問いかけるであろうことの大きな前に出す声すらありません。

今はただ、多くの尊い命が失われたこの深い哀しみを忘れないと誓うばかりです。

季節は春、いつもなら桜前線の北上にともなつて東北各地の桜の名所が賑わいをみせはじめの頃なのに…。

復興の道のりは遠く長い、でも「さまざまのこと思ひ出す桜かな」(松尾芭蕉)と、みんなが穏やかに思える春がいつか必ず訪れることを信じて。

矢代

帯広教会

帯広市東四条南八丁目四番地
TEL 〇一五五―三三―六八三五
FAX 〇一五五―三三―六八三五

3月11日、マグニチュード9、震度7、東北地方太平洋沖地震が発生した。平成7年に発生した阪神淡路の大地震よりはるかに死亡、行方不明、被害が大きい。それは、想定外、人智を越えた大津波による被害が大きい。

私達信奉者は、亡くなられ

た方の霊の立ち行きを願い、行方不明の方々の捜索及び被害に遭われた人たち、地域の早期復興と福島第一原子力発電所事故の収束を願わざるを得ない。帯広教会として出来る限りの義援金活動を積極的に行っていきたい。

日高の山並みにはまだまだ雪が残っていますが、確実に春の兆しがある。今年もいつもの場所、いつもの時期に福寿草の花が咲きました。だれもこの福寿草に肥料を蒔くわけでもなく、手を入れるわけでもない、ほったらかしにしている。しかし、毎年私達的心を和ませてくれる。光、水、土など天地のはたらき、恵みがあればこそ、そこに花が咲く。ありがたいなあと思う。花言葉は「幸福」「幸せを招く」「永久の幸福」などである。まさに物のある幸福より心の幸福をもちうことが出来る。

私達は天地のはたらきがあつて土地の恵み、海の恵みなど多くの恩恵を受けている。

しかし、また地震も津波も天地のはたらきである。このような大災害が発生するとどのように理解したらいいのか適切な言葉を見いだすことが出来ない。

寺田寅彦の名言「天災は忘れたところにやってくる」とある。このことを忘れず、また畏敬の念を考えていかなければならないと思う。

田中

十勝教会

池田町旭町一丁目九番地二二
TEL 〇一五五七一一三三三
FAX 〇一五五七一四二二三

早いもので今年もあつという間に四月を迎えました。昨年冬の長期予報では今冬の十勝は「雪が多い」とのことです。蓋を

開けてみると例年より少ないぐらいで、除雪機もほとんど使わないまま倉庫へ舞い戻っていきました。

さて、三月十一日に東北東日本地方を襲った地震が未曾有の大災害となったのはご存じのとおりです。地震が発生した直後から、テレビ、ラジオをなどマスメディアが一斉に情報を発信し始め、日本はおろか世界中の人々が被害の大きさに呆然とし、自然災害の猛威に恐怖をしたかと思えます。

この度の震災では、日本中の人々がテレビを通して、また津波が街を飲み込んでいく瞬間をリアルタイムで見ることになり、そして時間が経つにつれて益々被害が拡大悪化していく状を見させ続けられることになりました。救いのない情報が延々と発信され続けたことで、自身は被災し

ていないにもかかわらず、無力感に囚われた人も多いのではないのでしょうか。

しかし、被災地では人々がお互いに助け合い、支え合つて避難生活を送られていきます。日本中、世界中から「なんとかしたい」、「助けたい」との思いが集まり、人的あるいは様々な支援活動が続けられています。ある外国人の方々が震災発生直後に炊き出しをされていましたが、その人たちはボランティアに来た理由を「特別な理由はない、ただ我慢できなくてやってきた」と答えていました。

人智を遙かに越えた困難に直面したときにでも、人間として何かできることがある、人間だからできることがある。

改めて天地の中に生きる私たち人間の役割、信心するものの役割というものを考えさ

せられました。

玉置

釧路教会

釧路市宮本一丁目五番二二号
TEL 〇一五四四一一三五一
FAX 〇一五四四一一三六一

四月七日の朝、札幌にお住まいで関わりのある方から「母が亡くなったので先生にお葬儀をして頂きたい」と突然の電話を頂いた。日程が開いていたので葬儀を受け、七日は教会で祭詞の全部を作り、八日の朝札幌に向かい、終祭と九日告別祭を仕えた。葬儀が終わり帰釧。

十日は月例祭なので、その準備をしていると、信奉者から「母が亡くなったのでお葬儀を」と電話を頂いた。じつは、この方からは前からお母さんの様子を聴かせて頂いていて、八日、九日の葬儀は、この方のことを心配しての葬

5
儀だった。

しかし、今度は忙しくなつた。月例祭が終わって参拝者が帰ってから祭詞を作り「安宅祭(借りの終祭)」をし、小生は祭詞、家内は買ひ物、お手伝いを頂いた菊川先生には玉串の紙垂と会場でのお供えを、信奉者のお手伝いで紙垂づくり等お手伝いを頂いて、おかげでお葬儀を仕えることができた。

大いに疲れたが、東日本大震災で避難生活をしている方々は「疲れた」などと言っていないだろう、と思いつながら、ふと、釧路に赴任して四十三年間、信奉者の帰幽で一度も何かの都合で、こちらの仕事も、お葬儀の奉仕の都合の悪かったこともない。神様の、ご都合お繰り合わせに、ただただお礼するばかりである。

網走教会

網走市北四条西一丁目六番地
TEL 〇一五二一四三―三九五四
FAX 〇一五二一四三―三九五四

先日、ご本部から一本の電話を頂きました。四月三日の御大祭での総代玉串の一人を網走教会から奉仕者をお願いしますとのことでした。復興祈願ということもあり、北海道教区においても太平洋沿岸の港町など多くの被害が出ています。おそらく被災教区を代表してとの意味合いがあるのだろうと思いました。

江郷

ただでさえ、ご本部の御大祭時に玉串奉奠ご用をいただくなんて、滅多にないことで、ありがたく勿体ないことこの上ありません。さらにこの度は、被災教区として復興祈願を込めた玉串となりますので、その意味はさらに重く、教会としても、ただただ喜ぶだけでなく、襟を正してしつ

かりと願いを込めて参拝させて頂かねばと思いました。

ご本部へはIさん、Nさん親子と私の三人で参拝しました。Nさんは車椅子での参拝なので、総代玉串のご用はIさんがおかげを頂かれました。前日に習礼(予行演習)があり、当日も祭典一時間前には集合となっていたので、その間には中野さんと奥城参拝したりとしているうちに、車椅子を押しながら、なんだかおじいちゃん孝行をさせてもらっているようで清々しい気分を味わいました。不慣れな介助にNさんはお疲れになられたかも知れませんが、(汗)網走では日頃から親に孝行なIさんだから神様がご褒美を下さったんだねともっぱらの評判になりました。とにかく有り難くもったいない程のご本部参拝でした。

ご協力お願いします！

網走教会では毎年夏にチャリティーバザーを開催していて、その収益金は金光教平和活動センターに寄付しています。ただ、今年は日本復興チャリティーとして義援金として寄付することも考えています。

そこで、あっても使われないが捨てるには忍びないといった古着や贈答品、食器、調理器具(食器と調理器具は新品に限る)などなどのご提供をお願いいたします。詳しくは網走教会にお電話下さい。

網走の大祭時にお持ち下さるか、各教会の大祭時にでもお渡し下さればありがたいです。

菊川

行事報告

▼平成二十二年度役員会・会長選挙・役員研修会

・月 日 平成二十二年十月二十六日

・会 場 北見教会

・内 容 連合会行事会計報告、次年度計画会計について。

会長選挙

・研修会 「百五十年を経て、これからの信心を求めよう」

・提言者 矢代千春師

・出席者 七名

▼平成二十三年度 総会・委員研修会

・月 日 平成二十三年三月二十六日

・会 場 阿寒湖温泉・ホテル御前水

・内 容 連合会行事会計報告、次年度計画会計について。

・研修会 「教祖様の伝えたかったこと②」

・提言者 田中敬一師

・出席者 十四名

▼連合会役員人事について

・会 長 菊川松次郎

・副会長 江郷 繁樹（運動推進員兼務）

・副会長 新谷 哲也

・会 計 池亀 徳和

・幹 事 田中 敬一、矢代 千春、玉置 衛

・信徒会委員長 新谷哲也

副委員長 池亀徳和、横畠安男

道東地区教会連合会ホームページ <http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/DOTO>

第11回道東地区教会連合会交流パークゴルフ大会 道東地区教会連合会研修会のご案内

★パークゴルフ大会

日 時 6月18日（土）14時から16時

会 場 池田町・清見ヶ丘公園パークゴルフ場

終了後懇親会 会場「まきばの家」（池田町清見ヶ丘、宿泊も）

★研 修 会

日 時 6月19日（日）9時から12時

会 場 十勝教会

テーマ 平和と信心

講 師 西村美智雄先生（元金光教平和活動センター理事・恵庭教会）

※参加費など詳細が決まりましたらあらためてご案内いたします。

道東青年家族交流会のご案内（毎年開催しているファミリーキャンプです。）

日 時 7月23日（土）17時～24日（日）12時

会 場 釧路市近辺

内 容 懇親会とレクリエーション

参加費 大人ひとり3,000円